土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一級河川　江の川水系　下領家右下谷測量設計地質調査業務委託（通常砂防・公共）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 掘削・掘削のり面

ボーリング名	B-1-3	**調査位置**	広島県庄原市総領町下領家地内			**北緯**	34° 47′ 8.7205″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			**調査期間**	2019年 12月 16日 ～ 2019年 12月 18日	**東経**	133° 04′ 20.0668″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 304.56m	**角度**	180°（上）・90°・0°（下）・0°	**方位**	北 0°・90°東・180°南・270°西	**地盤勾配**	水平0°・鉛直90°・21°
総削孔長	6.00m	**使用機種**		**試錐機**	YBM　YBM-05D		
				エンジン	ヤンマー　NFD-7	**ポンプ**	安田工業　TAP-120

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	302.76	1.80		玉石混じり砂礫		暗褐	rd3		新生代第四紀	渓床堆積物に相当。 玉石分はコア長7～15cmで採取。 その他の礫分はφ10～30mmのものが多い。 マトリクスは，やや有機質な砂質シルトからなる。	12/18 2.30
2	301.01	3.55		風化安山岩		黄灰			中生代白亜紀	中～高角度の割れ目に富んだ岩である。コアは短柱状をなすことが多い。単コアの内部には，分離していない割れ目が発達する。岩片はやや新鮮で中硬質以上の硬さを保つ。 【CL級岩盤に相当する】	
4	300.26	4.30		風化安山岩		淡黄				1ヵ所的に岩芯風化が進んでいる。岩片も少し軟質である。【DH級岩盤に相当する】	
5	298.56	6.00		風化安山岩		淡緑灰				4.35～4.60m間の高角度亀裂を境に，上下で岩相が異なる。上盤は溶岩または貫入岩で，下盤は凝灰岩とみられる。コアは10cm以下の短柱状コアを呈す。岩片は中硬質以上であるが，上盤に比べて盤が少し軟らかい感がある。割れ目に沿った砕片化，風化は弱いものの，強い酸化色を伴っている。【CL級岩盤に相当する】	
6											
7											

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
16	1.15	2	5	9	16/300		
	1.45	貫入不能			50/0		
	2.00						
	2.00	貫入不能			50/0		
	3.00						
188	3.00					80	
	4.20	50/80			50/80		
	4.28	貫入不能			50/0		
	5.00						
	5.00	貫入不能			50/0		
	6.00						

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験　**原位置試験**

削孔月日　12/16　12/17　12/18